



まだまだ残暑は続きますが、日差しの合間にふっと秋を感じられるようになってきましたね。新年度から半年が経ち園での生活にも慣れお友だちや保育者と毎日笑顔で過ごしています。安心できる環境の中で、自分の気持ちを少しずつ表現したり、やりたいことに挑戦したりと、一人ひとりがのびのびと育っている姿が見られるようになってきました。



ちょっとずつ自分で挑戦中！



個人差はありますがトイレでの排泄も成功することが増えてきました。タイミングを見てトイレに誘うと、意欲的に便座に座り排泄をしようとする姿が見られます。出来た時には「トイレで出来たね！」と声をかけてしっかりと褒め、子どもたちが達成感を感じ、次もやってみようという気持ちに繋がっています。

衣類の着脱は、手先や腕の動き、順序の理解、体のバランスなど、様々な力を使う生活習慣です。子どもたちは「じぶんで！」という気持ちを少しずつ見せながら、衣類の着脱に挑戦しています。袖に手を入れたりズボンを引き上げたりと、一つひとつの動作に時間がかかることもありますが、保育者の手を借りながら最後までやり遂げる姿が見られます。出来たときには嬉しそうに顔をほころばせ、自信を持って取り組もうとする姿が見られました。これからも一つひとつの成長をともに喜びながら、自立に向けて見守っていきます。



静の遊び

感触遊びをたっぷり楽しむ時間がありました。壁面製作では、指に絵の具を付けて「トントン」と花火を描き、指先に広がる感触をじっと見つめたり不思議そうに触ったりする姿が見られ、その後のシール貼りでは、小さな指で台紙からシールをはがそうと指先に集中して上手く貼れると嬉しそうに笑顔を見せていました。小麦粉粘土では、ぎゅっと握った時の「ぐにゅっ」とした感触を楽しんだり、コロコロ丸めて保育者に見せたりしながら夢中になったりと素材ならではの柔らかさや冷たさを手や指先で味わう様子がありました。初めはどうしようかなと考えて触れるだけの子もいましたが、保育者や友だちの様子を見ながら安心し、次第に両手で大胆に触れてみるなど「やってみよう」という気持ちが育ってきています。これからも様々な素材に触れながら、感覚や様々な不思議の発見に繋がっていく遊びを広げていきたいと思います。



水遊びから広がる笑顔



今年の水遊びは、暑さ指数や雷注意報の影響で室内での活動が多くなりましたが、子どもたちは水着に着替えると、気持ちも高まり自然と笑顔が溢れていました。ジップロックに水を入れてぷにぷにと感触遊びをしたり、新聞紙プールでは、まず子どもたちで新聞紙をちぎって遊ぶところから始め、完成したプールで手や足をバシャバシャと楽しむ姿が見られました。初めは戸惑っていた子も、保育者と一緒に挑戦することで少しずつ動きや感触に慣れ、自信がついてきた様に感じられました。今後も、子どもたちが自分で挑戦する気持ちを大切にしながら、遊びの中で新しい事に取り組む楽しさを一緒に見守っていききたいと思います。

動の遊び

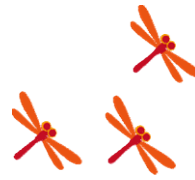


暑さが少しずつ和らぎ、外で元気に身体を動かせる日も増えてきました。ちびっこ広場やチャレンジ広場では、走ったり飛んだりするリズム遊びや、ボールを転がしたり投げたりする活動など、体の様々な動きを楽しんでいく予定です。三輪車を使った遊びも取り入れ、押したり漕いだりしながら体を動かす楽しさを味わっていきと考えています。マットやトンネルを使った全身運動では、登ったりくぐったりする中でバランス感覚や手足の協調性も少しずつ育っていきます。子どもたちは、友達や保育者と一緒に遊ぶ中で、動く楽しさや達成感を感じられるよう見守りながら、安全に配慮して活動していきます。



きりんだより

発行者：天久



残暑の厳しい日が続いていますが、子どもたちは元気いっぱい遊びを楽しんでいます。『挑戦するから成長できる』—まさにそんな姿が日々の中で見られています。できるかな？とためらいながらも、『やってみたい！』と一步をふみ出す子どもたち。その挑戦が『できた！』という喜びにつながり、大きな自信へと変わっていきます。これからも一人ひとりの挑戦する気持ちを大切にしながら、秋ならではの経験を重ねていきたいと思います。



～プール・水遊び(水遊びごっこ)～



7月は、プール遊びも始まり、初日から期待いっぱいの子どもたち。体操や着替えも保育者の話をよく聞き、プールの中ではワニさん歩きや水のかけ合いっこ、アヒルさん鬼ごっこなどで思いきり体を動かしていました。残念ながら雷注意報で中止になった日もありましたが、水着に着替えて室内で「プールごっこ」を楽しみました。新聞紙プールで宝探しをする姿は、まるで本物の水の中で遊んでいるかのように新聞のかけあいっこや、手かきをしたりと夢中でした。

水遊びでは、水や泥とたくさんふれあいながら遊びを楽しみました。水遊び・泥あそびでは、鍋や容器に水を溜めたり、コップに移し替えたりと夢中になる姿が見られました。「見て～！いっぱいになった！」と嬉しそうに保育者に見せる笑顔もたくさんありました。「おままごと」や「川づくり」などのごっこ遊びが広がり、手で泥をこねたり型に入れたり、全身で感触を楽しんでいました。



～指先を使う遊びを通して～

給食の時間には「お家でお箸使っているよ」と話す子が増え、お箸への関心が広がっています。現在はスプーンやフォークを親指・人差し指・中指の“三本指への移行持ち”で使う段階ですが、正しい持ち方につながるよう声をかけながら進めています。移行持ちでスプーンやフォークを上手に扱えることが、お箸を使う第一歩となります。

また、粘土やひも通しなどの遊びを通して、集中力や手先を使った遊びを取り入れながら、お箸の使用へと移行していきたいと考えています。実際にひも通しでは、一つひとつ丁寧に通しながら集中して取り組む姿が見られました。お箸を使って色玉をつかむ遊びにも挑戦し、「みてー！上手になってるでしょ」と嬉しそうに見せてくれる子もいました。こうした遊びを重ねる中で、楽しみながら自然と生活習慣へとつながるように今後も活動していきます。



移行持ち



握り箸

保育園でこのように握れるように子ども達に声をかけています



「みんなで作った大きなお城」



ある日、大型ブロックで遊んでいた子どもたち。それぞれに思い描くものを作って楽しんでいましたが、使いたいブロックが少なくなると、「それ使いたい！」と取り合いになってしまいました。

そんなとき、保育者がそっと声をかけると、異年齢の友だちと一緒に作った経験からか「じゃあ一緒に作ろう！」と気持ちが切り替わり、使えるブロックは倍に。そこへ周りの子も加わり、気がつけば数名で力を合わせて、子どもたちの背よりも高い大きなお城を完成させていました。

ひとりではできなかったことも、友だちと力を合わせればもっと大きく、もっと楽しくなる—そんな経験を通して、子どもたちの心の中にも温かい達成感が広がっていました。



ぱんだだより



発行：安次富

毎日晴れ渡る青空の下、暑さに負けずに伸び伸びと過ごしている子どもたち。汗をかきながらも元気に走りまわり、たくさんあそんで、いっぱい食べて、休息をとりながら、暑い夏を元気に過ごしていきたいと思います。引き続き、ご家庭でも早寝早起きの生活リズムを整えていけるようご協力お願いします。



思い出いっぱい★ナイト保育



今年度のナイト保育は「ねらいや期待を持って集団でひとつの目標に向かって取り組み、思いを共有し達成感を味わい自立心や協同性または肯定感を育む」「友だちと一緒に経験することで、道徳性や思考力（好奇心や探求心）を引き出し育む」ことをねらいに行いました。ゆいゆい国頭のよっしゃ！体験室では、土器や沖縄ならではの大きなお墓の模型があり、数字を見ながらグループで考えて形を組み合わせていくことに挑戦！一人ではなかなかできないもので、数字を見ながら「1-7 だから次は 1-8 じゃない？」「そうだよ、8 の次は 9 だね、これじゃない」と連携して組み立てていく姿が見られました。日頃は競うように我先に取り組むことが多い中、相談する声が多く聞こえ協力し合っていました。またお昼は子どもたちが大好きなドッチボール大会、以前から「先生たちと勝負したい！絶対に負ける気がしない！」と自信満々な子どもたち。職員相手に真剣な表情で、ボールを落とさずキャッチ、保育者めがけてボールを投げ全力で挑みました。その成果もあり見事、勝つことができました。対戦の前には挑戦状を作成し（文字や絵を描いて）ゲームに挑み、終了後には満足そうな笑顔が見られました。

今回のナイト保育を通して、日頃文字や数に興味を示さなかった子ども達も「これはなんて書いてるの？」「5+5 は 10 であってかな？一緒に数えよう！」と友だちを誘って一緒に数えたり確認するようになりました。また片付けの際にも「この段ボールよりもこの段ボールの方が大きいから反対にする？」など、あそびや生活の中で、自然と協力し合うことが多くなっています。自分だけでなく友だちと一緒に取り組むことで、絆を深めることができました。今回、精米、買い物や準備など計画や取り組みを自分達で考え、意見を出し合い決定し当日までの取り組みは、5 歳児にしか出来ないことを、ナイト保育を通して経験できたと思います。これからも友だちと一緒に体験する機会を増やしながら成長を見守っていききたいと思います。



シーサーづくり～世代間交流～

昨年度のムーチャー作りに続き「ぱんだ組さんになったらシーサー作るんだよね」と楽しみにしていた子どもたち。子どもたちだけでなく、朝夕の送迎の際に祖父母の皆さんにも「今年はシーサーですね。いつですか？」と声をかけていただきました。粘土あそびで事前に練習し、自分で作りたいシーサーを思い思いに作って練習していました。当日も作りたいイメージを相談しながら進める中で「こんな風にするのはどうね？」とお互いの考えを出し合う姿や「自分で考えて、こんな風にしたいみたいって、さすが年長さんだね。成長したね」など感想をいただくことができました。

近年、核家族化が進み、家庭内で祖父母の皆さんと子どもが関わる機会が減少している時代です。子ども達が世代を超えた交流を行うことで、つながりやお互いのことを理解する機会を大切に、長年保育園ではこのような取り組みを行っています。

今回の世代間交流でも、祖父母の皆さんと一緒に話し合い、思考を凝らし協力し合う姿が多く見られました。参加して頂いた皆様ご協力ありがとうございました。



はやく跳べるようになりたい！

まだまだ暑さが残るこの時期ですが、子どもたちは園庭で思いっきり体を動かしたくてうずうずしています。暑さ指数を見ながら、日陰を利用してあそんでいます。最近は跳び箱、バトンタッチリレーに夢中になり跳び箱の準備から片付けまで自分たちで進めています。まずは 2 段から進めて、3 段そして 4 段に挑戦中！「おかしいな本当は跳べるはずだけど」と自信満々な発言も聞こえたり「4 段で難しいね」などそれぞれの思いが聞こえてきます。跳べるようになると「見てね、お手本だからね」と友だちに教えてあげようと繰り返し、跳びたくてしょうがないようです。また友だちに刺激されて諦めずに何度も挑戦することで、健康な心と体を育んでいきたいと思っています。



ほけんだより



発行：山川

日中変わらず暑さが続いています。風は心地よさが感じられるようになりました。少しずつ季節が移ろい、そろそろ夏場の疲れも出てくる時期です。旧盆等の行事では、生活リズムが崩れがちになりますが、翌日に疲れを残さないようなるべく普段と変わらないリズムで過ごすことを心がけ、体調管理できるようにしていきましょう。

ダニ媒介感染症に注意！

近年、日本紅斑熱、つつが虫病、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）といった病原体を保有するダニ類に刺されることで発症する感染症の患者報告数が全国的に増加傾向にあります。特に4～10月は例年ダニ媒介感染症の患者が増える時期です。沖縄県においてもダニ媒介感染症が確認されています。野外活動等で草むらや山野に入る際は肌を露出しない、虫よけ材を使用するなどのダニが付着しない工夫をしましょう。

マダニから身を守る服装



- 長袖・長ズボンが基本
- 手袋や長靴を付ける
- 袖口を手袋の中に入れる
- ズボンを靴の中に入れる
- 帽子をかぶる
- 首元も露出させない

上着や作業着は、
家の中に持ち込まない
ようにしましょう。



屋外活動後は、
シャワーや入浴で、
ダニが付いていないか
チェックしましょう。



ガムテープ
を使って服に
付いたダニを
取り除く方法
も効果的です。

家の中の事故を防ぎましょう～9月9日は救急の日～

0～6歳の子どもの事故の約4割は家の中で起こっています。特に命に関わるのが窒息です。3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さいものは子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、タバコ、薬など身近なものにも注意が必要です。園内でも転倒、転落、誤飲については起こらないよう十分配慮し、子どもたちが安全に過ごせる環境づくりに努めています。

リビングや寝室



ソファやベッド
からの転落、タバ
コの誤飲に気を付
けましょう。

残り湯に落ちる、
入浴中に溺れるな
ど水の事故の危険
があります。



浴室

キッチン

調理器具による
やけどに注意。



窓際やベランダ



台などに上って手すり
を超える事故が、3歳
以降急増します。危険
なものがないかチェッ
クしましょう。

暑い夏もあと少し。強い日差しや、蒸し暑さで、子どもたちの体は思っている以上に疲れやすくなります。元気に過ごすために食事や睡眠・生活リズムを整えていきましょう。特に朝ごはんは、一日のスタートに欠かせないエネルギー源。しっかり食べることで、体温が上がり、頭も体も目覚め、園での活動にも集中して取り組みます。毎日の生活リズムと食事のバランスを整えて、夏を元気に乗り切りましょう。

ぱんだ組が稲刈りした米が変身!!

精米をし、粃がとれ、
きれいな白い米へ



ぞう、ぱんだ組が脱穀をして、地域の方の協力で精米に行ってきました。精米をした時、もみ殻がとれ、白い米に触れると、「お米ってあったかいね!」と目を輝かせて喜んでいました。



お米を精米機で精米



なんと! ナイト保育では、ぱんだ組がおやつにお釜炊飯を行いおにぎりを握り、美味しく頂きました。

おにぎりに栄養はあるの?



炭水化物: 日常の活動や運動に必要なエネルギー

タンパク質: タンパク質は筋肉の修復や成長に必要不可欠

ビタミンとミネラル: 昆布やほうれん草は鉄分やカルシウムを提供し、骨や血液の健康をサポート

食物繊維: 腸内環境を整え、食物繊維は消化を助け、便秘の予防にも効果的

☆おにぎりは、具材を工夫することでバランスの取れた栄養を摂取できる便利な食事です。

★栄養満点なおにぎりの具材には何がおすすめ?

鮭: 良質なタンパク質と疲労回復や免疫力向上に役立つ

梅干し: クエン酸が含まれており、疲労回復や食欲増進に効果的

ツナ(ノンオイル): タンパク質が豊富で、脂質が少なく、ビタミンDも含まれている

昆布: ミネラルが豊富で、特にカルシウムや鉄分が摂取し、食物繊維も含まれており、腸内環境を整えるのに役立つ

納豆: 発酵食品の酵素が豊富で、腸内環境を整え免疫力を高める

☆シンプルながら奥深い「塩むすび」の再評価や現代のライフスタイルに合わせた楽しみ方も広がっています。日本の伝統食としての魅力を再発見し、おにぎりを楽しみながら、健康的な食生活を維持していきましょう。

～8月の誕生日ケーキ～



毎月の手作りのケーキ♡
8月は今話題のテーマパーク! 沖縄のジャングリアをイメージし、恐竜ケーキを作ってみました。